

荒沢山 南カドナミ沢 2016/09/10

メンバー：落合（CL・記録），飯野（SL），平川

カドナミ橋 9：00 荒沢山 13：00 カドナミ橋 毛渡橋 14：50

今年の夏は天候に恵まれた日々が続いていたが、お盆以降は毎週のように台風が本州に上陸し計画に悩まされている。予定ルートは増水でボツとなり転戦、ショート・ルートで入りやすい谷川連峰北部、荒沢山の南カドナミ沢にやってきた。

南カドナミ沢は関越トンネルを抜けて右に目を向けるとまず最初に目に飛び込んで来る沢で、夏はスラブ、冬は荒沢山～足拍子岳に続く雪稜が印象的な山だ。



カドナミ尾根から足拍子岳（3月中旬）、右側が南カドナミ沢

前夜は土樽 SB のつもりで来たが、毛渡橋が工事で通行止めになっており出鼻を挫かれる。

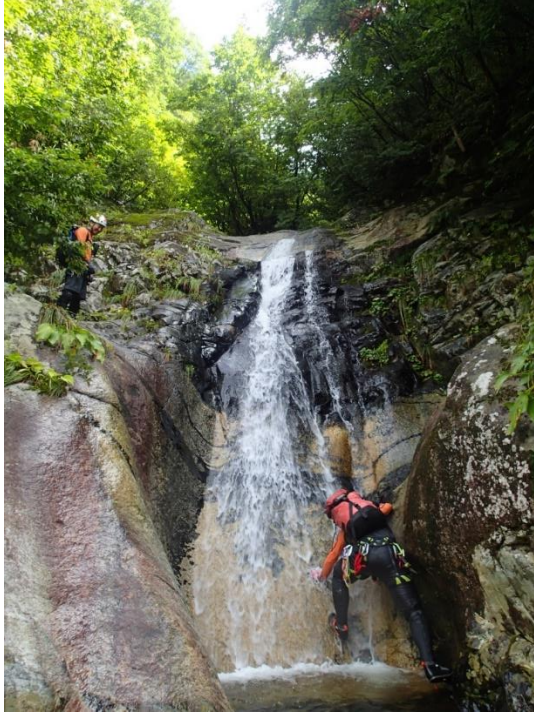
越後中里まで戻り林道を迂回してくれば土樽駅まで行けるようだが、面倒なので土樽自然公園で仮眠。我々は入渓点も近いので、毛渡橋付近に駐車して登山を開始する。

魚野川の本流から歩くハメになったので出合から登ってみようと思ったが、最初の滝はボロボロのルンゼ滝なので、仕方なく林道を迂回しカドナミ橋から入渓。

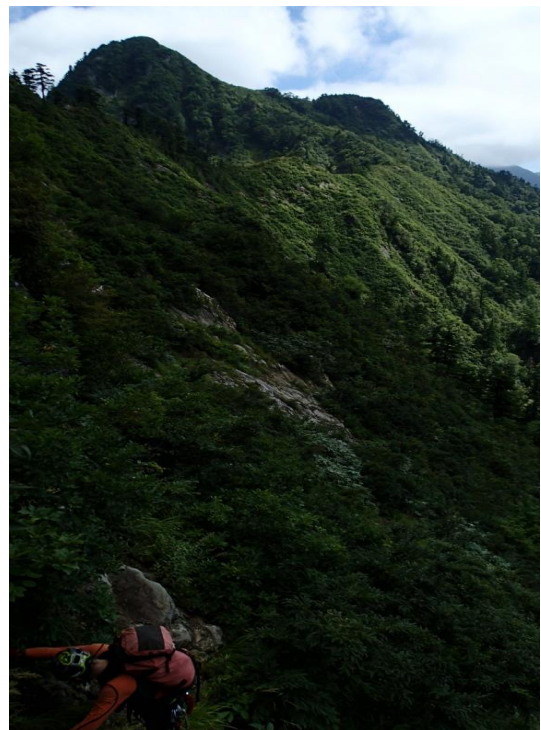
出だしはボサ（草）がジャングルで中腰遡行が続き、近所の裏山にある用水路のようだ。しかも、途中こんなショボい流れのなかに魚影があったのも驚きだ。

ハイライトと呼べる滝は少ないが、真面目に登るとそこそこ難しい滝がいくつかあり沢ボルダーと評してじっくり時間を掛けて登ってみる。ダメだったら巻けるので特に問題ない。

近所にこんなゲレンデがあったら、T R でスラブ登攀の練習に来るのも悪くない。



ヌメヌメのスラブでチャレンジする'アルペニスト・平川'



適度な登攀、ヤブ漕ぎ、沢登りルートとして華やかさは全く無いけど、
小粒ながら箱庭感があってなかなかいい沢です。
例えるなら西上州的な泥臭さを感じる。

途中、中俣に掛かる 150m 近くあるスラブ滝も非常に気になったので、また近いうちに來ることになるかも！？例年夏は雪溪が残っていて標高も低く暑苦しいので、秋の遡行をおススメしたい。

足拍子山群は標高 1,000m程度に過ぎない登山道も無い藪山だが、足拍子川もしかり、BUSH & SNOW を好む我々には見所が尽きない山域だ。

帰りは越後湯沢で地酒を買って美味しい飯を食べて帰るのが定番だが、そのうち後泊で森瀧で宴会～街中ゴルジュも突破しなくては！